

自動車タイヤ新聞

2025年6月18日

発行所 株式会社自動車春秋社
東京都千代田区岩本町3-7-13
電話 (03) 6427-6475
郵便振替口座 00100-2-35308
代表 横野 正義
購読料 年 9,900円 (税込)
<https://www.jdt-news.co.jp>

足廻りサービスの
システム・コンサルティング

株式会社 エイコ

植物由来原料の製造
開発研究棟を新設
日本ゼオン、米沢に

日本ゼオンは、植物原料由来の原料製造プロセス開発を行う研究棟を新設した。写真。

目立つ中国メーカーの相次ぐ生産拡大投資

リンロンがセルビア、サイ
ロンはメキシコに新工場

電気自動車（EV）で世界市場を席巻する中国の自動車産業。それに呼応するように、中国のタイヤ産業も急成長を遂げている。24年9月、本紙に掲載の米タイヤ専門誌による「世界のタイヤメーカー売上高ランキング」で中策コム（ZCラバー）が第9位で、ここ数年ベスト10内をキープする。米国のトランプ関税が北米をはじめ、世界のタイヤ市場にどのような影響をおよぼすか、行方が注目される。そのようななか、中国メーカー各社は中国外で工場を新設し生産拡大路線を強く推し進めている。

低価格武器に 世界で存在感増す



州タイヤ、森麒麟輪胎（青島センチュリー・タイヤ）が上位30位に名を連ねた。中国製EVの需要は底堅く、欧米市場での販売は成長するものとみられる。それに歩調を合わせ、中国メーカーのタイヤは特に低価格帯

の分野を中心に市場シェアを獲得。EV用タイヤの需要拡大を見越し、さらなる生産能力の拡大を図っている。

たとえばリンロングループは先に、セルビア国内の生産拠点を6億4500万ドルの増産投資を行うことを明らかにした。2030年末までに完成を予定し、主に欧州市場のタイヤ需要に対応するといふ。

ヤ、ダブルコリン、Prix（プリックス）、貴

前記のランキングでイルングループ、玲瓏輪胎（リンロンタイヤグループ）が上位20位圏内に

は、中国最大のZCラバー以外に、賽輪集団（サ

第20回中国国際タイヤエキスポ

9月3日～5日、上海で開催へ

で、主催は海富国際展覽服務有限公司（Reelable社、Topic

らの来場が多い。3万平方メートルの展示スペースに300社以上が出展し、うち4%

来場者からは「新興企業や新ブランドからサブライヤー側の市場トレ

産業の取引に混乱を招いているもようだ。少しでも安定した取引を求め、前回は超える来場者数